

# 公益財団法人 上伊那教育会 第3回 総会

期日：令和3年10月18日（月） 会場：上伊那教育会館講堂

- 1 開会
- 2 上伊那教育会の歌「仰望」
- 3 会長挨拶
- 4 議事  
第1号議案「教育会事業の変更」承認に関する件
- 5 報告
  - (1) 信濃教育会常任委員会 報告
  - (2) 信濃教育会臨時総会 報告
  - (3) 信濃教育会総集会 下伊那大会 報告
  - (4) 県内教育関係機関研修 報告・反省
  - (5) 未来継承委員会からの報告
- 6 協議
  - (1) 教育会各事業の中間報告
  - (2) 上伊那教育会総研修会「仰望の日」の反省
  - (3) 少年の塔周辺整備作業・少年の塔慰霊祭の反省
- 7 諸連絡
- 8 前会長、退任理事への感謝状・記念品贈呈
- 9 閉会の言葉



感染予防のため、総会への出席者を各中学校区1名に限定。各校へはオンライン配信をし、オブザーバーとしての参加形式で開催しました。



## 原文章会長 挨拶

中学校区1名の代議員の皆さんには、第3回総会にご参集いただき誠にありがとうございます。

さて、教育会の諸事業も、コロナ禍により縮小したりやむを得ず実施を見送ったり様々対応を考えながら実施して参りました。この間、校長先生方をはじめ代議員の皆様、各事業を担当された委員会の皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。

7月末には、三大研修の一つである「夏期講習会」が秋富先生のご指導のもと、今年も西田幾多郎の『善の研究』をテキストに、日頃の実践や悩みを出し合いながら語り合いました。若い参加者の一人は、「確かに西田哲学は難しいけれど、やっていくうちに少しずつ見えなかったものが見えてきたときはうれしい。また参加者との語り合いはすごく楽しかった。哲学研修に参加しましょう、と多くの人に呼びかけたい。」とってくれました。

その他の三大研修である文学研修は、今週金曜日にある堀井正子先生の講演会が大トリとなります。また授業研修は、今年度は授業を見ていただくことを大事にしており、1月21日の授業研修会前に公開授業を予定しています。

7月の新入会員歓迎会、県内教育関係機関視察研修会、郷土研究部による夏休み親子体験スクールの実施、8月の東部講習会、9月の人権教育講演会等、各事業とも多くの参加者を得て、また参加者による意欲的な取組により大変有意義な研修となりました。

さらに、研究調査部等の各委員会も、精力的に会合を開いており、中には委員自身の力をつけるという今年度の組織改編の目的を受け、委員会内で積極的に授業公開を行っていただいている委員会がいくつもあります。

9月に実施された少年の塔慰霊祭ですが、満蒙開拓青少年義勇軍の体験者であり、慰霊祭の講師として長年にわたってご尽力いただいた北原和夫様が慰霊祭の前にご逝去されました。これまでの上伊那教育会への多大な貢献に心より感謝申し上げるとともに、改めてご冥福をお祈りしたいと思います。

最後に、来年度の上伊那総研修会「仰望の日」のことについてお話しさせていただきます。今年度は何としても実施したいとの想いから、感染拡大状況を踏まえ、リモートによる開催といたしました。各校からは大変好意的な声を寄せていただきました。ただ、このリモートによる開催は感染防止のため、あくまで緊急避難的に実施したものであります。ですから、来年度は、コロナの状況によりますが、また全会員が集まっての総研修会にしたいと私は考えます。

この上伊那教育会総研修会「仰望の日」とはどんな日なのか、ぜひそのことを会員全員で今一度確認したいと思います。この日は、全ての会員が一堂に会することができる一年でたった一度の日です。年度の早い時期に、会員が集い、会員発表や一流講師の講演を「じかに」「面と向かって」お聞きすることを通して、単なる知識や情報の習得だけでなく、教育会会員としてのつながりや一体感を感じ、今年一年教育会の様々な事業に参加して、互いに学び合い自分を磨こうという意識を高めていく、そういう場が総研修会という日だと私は思います。ですから、みんなが一堂に会すること、そのこと自体に大きな意味があるのです。仰望の日の午後に行う教科等教育研究会も同じです。私たちの先輩は、このことの大変な意味を感じていたからこそ、会員が学校の心配をせず、研修に専念できるよう平日を休みにして研修日として位置づけたのだと、私は理解しています。もちろん、オンラインにはオンラインの良さがあります。これからも委員会の会合等必要に応じてオンラインを積極的に利用していただきたいと思います。しかし、顔を合わせなければ得られないものがある。逆に言えば、顔を合わせることで得られる多くのものがあるということ。それは、コロナ禍で私たち教師が、休校開けの子ども達の姿から、改めて学んだことではないでしょうか。

本日は、議事の他、報告・協議事項が多数あります。代議員の皆様の忌憚のないご意見をいただきたいと思ひます。本日の総会よろしくお祈いします。 (要旨)

## 議 事

### (1) 第1号議案「教育会事業の変更」承認に関する件

「公益事業 二 児童生徒育成事業 3 鑑賞会事業 夏休み映画鑑賞教室」を令和4年度以降廃止。

第1号議案について原会長による提案がされ、採決の結果、賛成多数で承認されました。

## 報 告

### (1) 信濃教育会常任委員会 報告

【浦山副会長】

令和4年度以降の全県研究大会の構想を中心に報告がありました。

### (2) 信濃教育会臨時総会 報告

【原常任委員】

臨時総会の報告ならびに武田会長のご挨拶が紹介されました。

### (3) 信濃教育会総集會 下伊那大会 報告

【原常任委員】

オンデマンドでの下伊那大会の様子、来年度の方向について報告がありました。

### (4) 県内教育関係機関研修 報告・反省

【沼野常任委員】

研修視察報告ならびに今後開催する報告会・座談会について報告がありました。

### (5) 未来継承委員会からの報告

【原会長】

「教育会館の無償使用及び駐車券の認証」「第1・第3土曜日の教育会館の使用」について委員会からの提案について報告がありました。

## 協 議

### (1) 教育会各事業の中間報告

【土橋・原・高嶋・山内・島尻 各常任委員、飯澤専務理事】

- ①職能研修事業 ②児童生徒育成事業 ③郷土研究事業 ④不動産貸与事業、会員共済事業  
⑤運営・広報事業

### (2) 上伊那教育会総研修会「仰望の日」の反省

【清水幹事長】

オンライン開催となった今年度の成果と反省、来年度の方向について発言がありました。

### (3) 少年の塔周辺整備作業・少年の塔慰霊祭の反省

【清水幹事長】

2回行った整備作業の反省と御礼、参加者を制限して開催した少年の塔慰霊祭の反省について発言がありました。

## 連絡

- (1) 文学講演会について 【小野幹事】
- (2) 令和4年度に向けた上伊那教育会諸事業の改善・充実に関する意見・要望等について』【長坂幹事】
- (3) 人権教育実践事例集について 【土橋常任委員】

## 感謝状・記念品贈呈

平成2年度をもってご退任された、小澤徳夫前会長、唐澤喜市前理事へ原文章会長から記念品と感謝状が贈呈されました。(欠席された福興雅寿前理事へは、後日贈呈されます。)



### <小澤徳夫前会長 ご挨拶>

昨年は8月までの事業は中止としたが、その中で9月以降の活動についてたくさんの声をいただいた。教育会のことを大事に考えてくれる姿が有難かった。本日はありがとうございました。(要旨)



### <唐澤喜市前理事 ご挨拶>

現在、地区の役員をしている。長年お世話になった教育会を外から見ると気づかされることがある。人と人の繋がりが大事。学校の間人間関係が大事。根回しが大事。ご活躍を期待します。(要旨)

## 浦山哲雄副会長 閉会の言葉

各校でも、コロナの影響もあり、10月、11月は行事が立て込んでいるのではないかと思います。教育会も今週は、明日教師塾B、金曜日には文学講演会、来週は県内教育関係機関研修報告座談会と事業が続いています。

その中の教師塾Bは、信濃教育会との共催事業で、本年度からの新規事業です。講師も含め、概ね教員経験5年未満の先生方を対象に、教師力を高める3つの力を身につけようという趣旨で、第1回「グラフィックファシリテーション」、第2回「コミュニケーション力」、第3回「作文力」と、3回にわたって開催されます。

本校でも声をかけますと「作文力に是非出たいです」と、とても前向きな言葉と共に、明日は4名が参加します。先生方が自分の力を高めたいと願い、そんな場を求めている、一つの表れだと思います。『つながり、学び合い、自分を磨く』場が教育会にはあります。代議員の先生方には、校長先生、教頭先生とも相談しながら、是非一声かけていただき、先生方が学ぶ機会を作ってくださいませようよろしくお願いいたします。

以上で、第3回公益社団法人上伊那教育会、第3回総会を終わります。

(要旨)